

(13) 就実大学

① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	前期	2025年 4月 8日(火)	～	2025年 7月 29日(火)
	後期	2025年 9月 24日(水)	～	2026年 1月 23日(金)
試験期間	前期	2025年 7月 30日(水)	～	2025年 8月 5日(火)
	後期	2026年 1月 26日(月)	～	2026年 1月 30日(金)
授業時間	1限	9:10	～	10:40
	2限	10:50	～	12:20
	3限	13:10	～	14:40
	4限	14:50	～	16:20
	5限	16:30	～	18:00

② アクセス(案内図)



JR山陽本線・赤穂線

JR山陽本線・赤穂線「西川原駅」下車徒歩1分
 「西川原駅」は通称「西川原・就実駅」です。

③ 担当窓口

教務課	
所在地	岡山市中区西川原 1-6-1 R 館1階
電話	086-271-8120

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

- ・ 履修申込期限（**申込受付期間が異なりますので留意してください**）

前期受付:2025年3月3日(月)～3月31日(月)

後期受付:2025年7月1日(火)～9月8日(月)

- ・ 履修手続

募集要項を確認し、各自の各所属大学に上記の履修申込期限内に申し込んでください。

- ・ 施設利用

1. 就実大学在学の学生と同じ扱いとします。
2. 以下の印刷物を配付します。(受入大学訪問時)
 - 学年暦
 - 就実キャンパスガイド
 - 単位互換履修生証（最終講義終了後、**教務課へ返却が必要です**）
 - アカウント通知書

- ・ 特記事項

休講・補講等の連絡は本学 WebClass を利用し確認してください。出席管理は単位互換履修生証にて IC カードリーダーを使用し管理します。

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

https://www1.shujitsu.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx

対面授業			13001																
古典文学研究 1		瓦井 裕子																	
Study on Classic-literature 1																			
2~4年次	2単位	前期	1コマ																
<p>【授業の目的】 平安時代の文学作品の絵画化をテーマに、さまざまな絵画資料や文献資料を取り上げ、正確に理解していく。それを通して文学と絵画との関係、文学作品を絵画化することの文化的意義を考える。また、古典文学作品を読む上での知識や技能を身につける。</p>																			
<p>【授業内容】 平安時代の文学作品の絵画資料やそれに関連する文献資料を用いながら、文学作品とその享受について理解を深める。絵画だけではなく、絵画化された文学作品自体に対する読解も適宜行う。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 授業ガイダンス</td> <td>9. 『源氏物語』とその絵画(2)</td> </tr> <tr> <td>2. 平安時代の文学と絵画</td> <td>10. 『源氏物語』とその絵画(3)</td> </tr> <tr> <td>3. 『伊勢物語』とその絵画(1)</td> <td>11. 『源氏物語』とその絵画(4)</td> </tr> <tr> <td>4. 『伊勢物語』とその絵画(2)</td> <td>12. 『源氏物語』とその絵画(5)</td> </tr> <tr> <td>5. 『伊勢物語』とその絵画(3)</td> <td>13. 歌仙絵(1)</td> </tr> <tr> <td>6. 『伊勢物語』とその絵画(4)</td> <td>14. 歌仙絵(2)</td> </tr> <tr> <td>7. 『伊勢物語』とその絵画(5)</td> <td>15. 全体のまとめ</td> </tr> <tr> <td>8. 『源氏物語』とその絵画(1)</td> <td></td> </tr> </table>				1. 授業ガイダンス	9. 『源氏物語』とその絵画(2)	2. 平安時代の文学と絵画	10. 『源氏物語』とその絵画(3)	3. 『伊勢物語』とその絵画(1)	11. 『源氏物語』とその絵画(4)	4. 『伊勢物語』とその絵画(2)	12. 『源氏物語』とその絵画(5)	5. 『伊勢物語』とその絵画(3)	13. 歌仙絵(1)	6. 『伊勢物語』とその絵画(4)	14. 歌仙絵(2)	7. 『伊勢物語』とその絵画(5)	15. 全体のまとめ	8. 『源氏物語』とその絵画(1)	
1. 授業ガイダンス	9. 『源氏物語』とその絵画(2)																		
2. 平安時代の文学と絵画	10. 『源氏物語』とその絵画(3)																		
3. 『伊勢物語』とその絵画(1)	11. 『源氏物語』とその絵画(4)																		
4. 『伊勢物語』とその絵画(2)	12. 『源氏物語』とその絵画(5)																		
5. 『伊勢物語』とその絵画(3)	13. 歌仙絵(1)																		
6. 『伊勢物語』とその絵画(4)	14. 歌仙絵(2)																		
7. 『伊勢物語』とその絵画(5)	15. 全体のまとめ																		
8. 『源氏物語』とその絵画(1)																			
<p>【テキスト】 適宜、配布する。</p>																			
<p>【参考図書】 適宜、指示する。</p>																			
<p>【成績評価の方法】 レポート 70%／授業態度 30%</p> <p>レポートは、「授業内容を理解しているか」「周辺事項や興味を持った事柄について掘り下げようとしているか」「古典文学や文学史に関する知識を持っているか」「上記のことを自分の言葉で論理的に記述できるか」を評価する。</p> <p>授業態度については、「授業準備をして授業に臨んでいるか」「授業を聞いて生じた疑問を掘り下げようとしているか」「授業内容を既に持っている知識と有機的に結びつけようとしているか」を評価する。</p>																			

対面授業				13002																
古典文学講義 2			川崎 剛志																	
Japanese Classical Literature 2																				
3~4年次	2単位	後期	1コマ																	
【授業の目的】 文学のテキストは多様な読みが可能である。そして、誤読や曲解を含めて、多様な読みに堪えてきた作品が古典となったともいえる。作品の読解と分析を通して、古典とは何かを考える。表現文化学科3年次の選択必修科目「講義」群の一であり、専門科目のなかでも最高水準が求められる。																				
【授業内容】 鎌倉時代に藤原定家の撰した『百人一首』を取り上げる。『百人一首』の成立と享受を概観し、名著である[テキスト]の解説にそって一首ずつ読み解くことにより、古典と呼ばれるものの正体を覗く。																				
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 和歌とは？</td> <td style="width: 50%;">9. 喜撰法師</td> </tr> <tr> <td>2. 『百人一首』の成立と受容</td> <td>10. 在原業平</td> </tr> <tr> <td>3. 天智天皇</td> <td>11. 素性法師</td> </tr> <tr> <td>4. 持統天皇</td> <td>12. 大江千里</td> </tr> <tr> <td>5. 柿本人麻呂</td> <td>13. 中納言兼輔</td> </tr> <tr> <td>6. 山辺赤人</td> <td>14. 坂上是則</td> </tr> <tr> <td>7. 猿丸大夫</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>8. 安倍仲磨</td> <td></td> </tr> </table>					1. 和歌とは？	9. 喜撰法師	2. 『百人一首』の成立と受容	10. 在原業平	3. 天智天皇	11. 素性法師	4. 持統天皇	12. 大江千里	5. 柿本人麻呂	13. 中納言兼輔	6. 山辺赤人	14. 坂上是則	7. 猿丸大夫	15. まとめ	8. 安倍仲磨	
1. 和歌とは？	9. 喜撰法師																			
2. 『百人一首』の成立と受容	10. 在原業平																			
3. 天智天皇	11. 素性法師																			
4. 持統天皇	12. 大江千里																			
5. 柿本人麻呂	13. 中納言兼輔																			
6. 山辺赤人	14. 坂上是則																			
7. 猿丸大夫	15. まとめ																			
8. 安倍仲磨																				
【テキスト】 島津忠夫、新版 百人一首(角川ソフィア文庫)、角川書店、978-4044040017、704 円																				
【参考図書】 井上宗雄ほか編、百人一首(新潮古典文学アルバム)																				
【成績評価の方法】 授業に参加する姿勢 20%、予習の小テスト 60%(語句の下調べだけでなく、テキストの記述の内容理解の程度を厳密に評価する)、復習の小テスト 20%(重要な点を理解できているかどうかを中心に評価する)。毎回、1時間以上の事前・事後学習を求める。																				

対面授業			13003	
古典文学研究 3			竹内 洪介	
Japanese Classical Literature 3				
2～4年次	2単位	後期	1コマ	
<p>【授業の目的】 蔦屋重三郎は18世紀後半の江戸で活躍した版元(本屋)である。この時代は喜多川歌麿、東洲斎写楽、山東京伝、大田南畝といった花形が登場し、一大旋風を巻き起こした時代であった。これら人気作家たちの作品を巧みに売り出し、江戸文化の最先端を演出・創造したのが、蔦屋重三郎である。蔦屋重三郎が生み出した文学世界はどのようなものであったか。近世の文芸は浮世絵などの「文化」とどのように関係しているのか。書物問屋と地本問屋の違い、出版統制などの法的側面にも注目し、また国学などの学問的世界・幕閣の情勢にも目配りすることで、既存の学問的枠組みにとらわれない新たな文学的視野を獲得することを目指す。</p>				
<p>【授業内容】 蔦屋重三郎(1750-1797)の事績に注目し、近世文学史上における、安永年間(1772～1781)から寛政年間(1789～1801)までの文学的展開を辿る。読本・洒落本・草双紙(黄表紙)・浄瑠璃・俳諧など多ジャンルの中世文芸の特徴を時代的背景、浮世絵などからの影響、文体・内容・題材などの諸要素から把握するとともに、18世紀後半の中世文化がいかなるものであったか、その諸要素はどのように推移し、変容したかという問題を考える。</p> <p>1. ガイダンス・「本屋」という職業について 9. 安永・天明という時代:『雨月物語』の登場 て 2. 近世における出版技術の発展(1) 10. 国学の展開と太田南畝の登場 3. 近世における出版技術の発展(2) 11. 天明狂歌の時代 4. 書物問屋と地本問屋 12. 田沼意次の失脚と松平定信の登場 5. 吉原と吉原細見:名寄の時代 13. 山東京伝の洒落本と浮世絵の出版 6. 草双紙の展開と朋誠堂喜三二の登場 14. 書物問屋蔦屋重三郎と読本との関わり、蔦屋 重三郎の死 7. 談義本・洒落本の登場と展開 15. まとめとテスト 8. 蔦屋重三郎による黄表紙の出版と広告の発想</p>				
<p>【テキスト】 プリントを配布する。</p>				
<p>【参考図書】 鈴木俊幸『蔦屋重三郎』(平凡社、2024年10月)</p>				
<p>【成績評価の方法】 講義中盤に行う小テスト40点/まとめのテスト60点</p> <p>リアクションペーパー(Webclassを用い、その内容は成績評価には影響しない)を毎回義務付ける。リアクションペーパーを提出しなかった場合、第15回に実施するまとめのテストから提出がなかった回数分減点する。(なお、講義を欠席した場合は担当教員に連絡の上、その時に行った講義内容について自主学習を行い、その学習に基づいてリアクションペーパーを作成・提出すること。その場合、減点は行なわない)。</p> <p>講義中盤に行う小テストは授業内容の理解度について評価するものである。採点ののちコメントを付してフィードバックする。</p> <p>まとめのテスト(60点)は、授業内容の理解度を問う(配点40点)だけでなく、授業内容と自主学習で得た知識を利用して論じられるかを問う小論文問題(配点20点)により出題する。試験結果のフィードバックは、授業内および小論文の返却時に行う。毎回、1時間以上の事前・事後学習を求めるが、本講義の予習・復習には大河ドラマ「べらぼう」の視聴が極めて望ましいことを強調しておきたい。</p>				

対面授業			13004																	
近現代文学講義 3			坂 堅太																	
Study of Modern Japanese Literature 3																				
3~4年次	2単位	前期	1コマ																	
<p>【授業の目的】 「敗戦」と「占領」を題材とする短篇小説を読みながら、「戦後」という問題系についての理解を深めていく。この作業を通じ、現代日本を批判的に観察する視座を構築することを目的とする。。</p>																				
<p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1 イントロダクション①(「戦後」という語について)</td> <td>9 野間宏「顔の中の赤い月」を読む①: 復員者たちが抱え込んだもの</td> </tr> <tr> <td>2 イントロダクション②(戦時／戦後の断絶と連続)</td> <td>10 野間宏「顔の中の赤い月」を読む②: 忘却への抵抗</td> </tr> <tr> <td>3 志賀直哉「灰色の月」を読む①: 「焦土」に立つ人々</td> <td>11 野間宏「顔の中の赤い月」を読む③: 〈復興＝忘却〉に抗する</td> </tr> <tr> <td>4 志賀直哉「灰色の月」を読む② : 見捨てられた者たち</td> <td>12 小島信夫「アメリカン・スクール」を読む①: 「オキュパイド・ジャパン」</td> </tr> <tr> <td>5 志賀直哉「灰色の月」を読む③: 焦土の中を生きるということ</td> <td>13 小島信夫「アメリカン・スクール」を読む②: 勝者の言語を話すということ</td> </tr> <tr> <td>6 太宰治「トカトントン」を読む①: 「新日本建設」とは</td> <td>14 小島信夫「アメリカン・スクール」を読む③: 占領とジェンダー</td> </tr> <tr> <td>7 太宰治「トカトントン」を読む②: 「戦後」への戸惑い</td> <td>15 まとめ</td> </tr> <tr> <td>8 太宰治「トカトントン」を読む③: 「トカトントン」とは</td> <td></td> </tr> </table>					1 イントロダクション①(「戦後」という語について)	9 野間宏「顔の中の赤い月」を読む①: 復員者たちが抱え込んだもの	2 イントロダクション②(戦時／戦後の断絶と連続)	10 野間宏「顔の中の赤い月」を読む②: 忘却への抵抗	3 志賀直哉「灰色の月」を読む①: 「焦土」に立つ人々	11 野間宏「顔の中の赤い月」を読む③: 〈復興＝忘却〉に抗する	4 志賀直哉「灰色の月」を読む② : 見捨てられた者たち	12 小島信夫「アメリカン・スクール」を読む①: 「オキュパイド・ジャパン」	5 志賀直哉「灰色の月」を読む③: 焦土の中を生きるということ	13 小島信夫「アメリカン・スクール」を読む②: 勝者の言語を話すということ	6 太宰治「トカトントン」を読む①: 「新日本建設」とは	14 小島信夫「アメリカン・スクール」を読む③: 占領とジェンダー	7 太宰治「トカトントン」を読む②: 「戦後」への戸惑い	15 まとめ	8 太宰治「トカトントン」を読む③: 「トカトントン」とは	
1 イントロダクション①(「戦後」という語について)	9 野間宏「顔の中の赤い月」を読む①: 復員者たちが抱え込んだもの																			
2 イントロダクション②(戦時／戦後の断絶と連続)	10 野間宏「顔の中の赤い月」を読む②: 忘却への抵抗																			
3 志賀直哉「灰色の月」を読む①: 「焦土」に立つ人々	11 野間宏「顔の中の赤い月」を読む③: 〈復興＝忘却〉に抗する																			
4 志賀直哉「灰色の月」を読む② : 見捨てられた者たち	12 小島信夫「アメリカン・スクール」を読む①: 「オキュパイド・ジャパン」																			
5 志賀直哉「灰色の月」を読む③: 焦土の中を生きるということ	13 小島信夫「アメリカン・スクール」を読む②: 勝者の言語を話すということ																			
6 太宰治「トカトントン」を読む①: 「新日本建設」とは	14 小島信夫「アメリカン・スクール」を読む③: 占領とジェンダー																			
7 太宰治「トカトントン」を読む②: 「戦後」への戸惑い	15 まとめ																			
8 太宰治「トカトントン」を読む③: 「トカトントン」とは																				
<p>【テキスト】 講義内で扱うテキストはこちらで準備する。</p>																				
<p>【参考図書】 講義中に適宜指示する。</p>																				
<p>【成績評価の方法】 小レポート(25%×3回)、定期的に課す小課題(25%)により総合的に判断する。</p>																				

対面授業				13005
異文化理解と交流 1A			ローレンス ダンテ	
Understanding and Interacting with Other Cultures				
3~4年次	2単位	前期	1コマ	
【授業の目的】 Students will have the opportunity to increase their understanding of minority cultures in the United States, and to improve their overall understanding of intercultural issues.				
【授業内容】 Introduction/American Cultural Issues Introduction to Latinos and US History African Americans Mexican Americans African Americans Mexican Americans African Americans Mexican Americans Quiz and Review Mexican Americans African Americans Mexican Americans African Americans Quiz and Review Quiz and Review Overall Review/Essay Due				
【テキスト】 有賀夏紀、油井三郎(編)アメリカの歴史、テーマで読む多文化社会の夢と現実 ISBN 4-641-12162-1				
【参考図書】				
【成績評価の方法】 Class participation 20%, quizzes 60%, essay 20%				

対面授業				13006																
異文化理解と交流1B			テレサ ストックウェル																	
Understanding Other Cultures																				
3～4年次	2単位	前期	1コマ																	
<p>【授業の目的】</p> <p>Students will have the opportunity to increase their understanding of the United States and to improve their overall understanding of intercultural issues. The focus of this class is Native American history and culture.</p> <p>This class partially fulfills the guidelines established in the Department of Practical English diploma and curriculum policies regarding the development of communication skills, globalization and knowledge of global issues, problem discovery, critical thinking, and the acquisition of knowledge about other cultures.</p> <p>By the end of this course, students will be able to:</p> <ul style="list-style-type: none"> - Understand key historical events that shaped Native American history. - Identify and analyze contributions of groundbreaking Native Americans. - Compare Native American cultural practices with other cultures. - Examine contemporary challenges and revitalization efforts. - Develop critical thinking and intercultural communication skills. 																				
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;">1 Introduction/Understanding Other Cultures</td> <td style="width: 50%; border: none;">9 Groundbreaking Native Americans Part 2</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">2 Early Native American Cultures</td> <td style="border: none;">10 Land Rights and Environmental Stewardship</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">3 Contact with Europeans</td> <td style="border: none;">11 Native Americans in Media</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">4 Forced Displacement and Trail of Tears</td> <td style="border: none;">12 Language and culture Revitalization</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">5 Groundbreaking Native Americans Part 1</td> <td style="border: none;">13 Groundbreaking native Americans Part 3</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">6 Reservation Life and Assimilation Policies</td> <td style="border: none;">14 Contemporary Issues</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">7 Native American Languages and Oral Traditions</td> <td style="border: none;">15 Reflection and review/ Essay due</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">8 Art and Music</td> <td></td> </tr> </table>					1 Introduction/Understanding Other Cultures	9 Groundbreaking Native Americans Part 2	2 Early Native American Cultures	10 Land Rights and Environmental Stewardship	3 Contact with Europeans	11 Native Americans in Media	4 Forced Displacement and Trail of Tears	12 Language and culture Revitalization	5 Groundbreaking Native Americans Part 1	13 Groundbreaking native Americans Part 3	6 Reservation Life and Assimilation Policies	14 Contemporary Issues	7 Native American Languages and Oral Traditions	15 Reflection and review/ Essay due	8 Art and Music	
1 Introduction/Understanding Other Cultures	9 Groundbreaking Native Americans Part 2																			
2 Early Native American Cultures	10 Land Rights and Environmental Stewardship																			
3 Contact with Europeans	11 Native Americans in Media																			
4 Forced Displacement and Trail of Tears	12 Language and culture Revitalization																			
5 Groundbreaking Native Americans Part 1	13 Groundbreaking native Americans Part 3																			
6 Reservation Life and Assimilation Policies	14 Contemporary Issues																			
7 Native American Languages and Oral Traditions	15 Reflection and review/ Essay due																			
8 Art and Music																				
<p>【テキスト】</p> <p>No required textbook. Readings and materials will be provided.</p>																				
<p>【参考図書】</p> <p>Dunbar-Ortiz, Roxanne. An Indigenous Peoples' History of the United States (2014) Online resources from Native American organizations and archives</p>																				
<p>【成績評価の方法】</p> <p>Participation and Discussion: 20% Reflections and Quizzes: 40% Research Presentation: 20% Final Essay: 20%</p> <p>Students will write short reflections on the topics covered in the lesson as well as take short quizzes to check their understanding of the main issues.</p> <p>Students will receive written and verbal feedback on assignments and participation.</p>																				

対面授業			13007																	
異文化理解と交流1C			和栗 了																	
Understanding Other Cultures -1C																				
3～4年次	2単位	前期	1コマ																	
<p>【授業の目的】 『聖書』とキリスト教についての基礎的知識を修得し、『聖書』がどのように読まれる可能性があるのかを考えることを目的とします。文学者の立場から『聖書』を論じます。 テーマは、『聖書と文学』です。 毎回取り扱うテーマと作品は変更の可能性があります。</p>																				
<p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1 導入・『聖書』とは何か？ 「創世記」の神と『フランケンシュタイン』</td> <td>9 地上化する神と『レ・ミゼラブル』</td> </tr> <tr> <td>2 原罪説と「人間とは何か？」</td> <td>10 『カラマーゾフの兄弟』と神義論——探偵小説にハラハラドキドキ</td> </tr> <tr> <td>3 「出エジプト記」と『神曲』</td> <td>11 『無関心な人々』と中間者</td> </tr> <tr> <td>4 「列王記」のダヴィデと『非文字』</td> <td>12 『変身』という現代社会——中間者の地獄</td> </tr> <tr> <td>5 「ヨブ記」と『白鯨』</td> <td>13 『歎異抄』——親鸞はキリスト教を理解していたか</td> </tr> <tr> <td>6 「ヨナ書」と『ハックルベリー・フィンの冒険』</td> <td>14 遠藤周作『海と毒薬』——日本人にキリスト教は理解できます</td> </tr> <tr> <td>7 逍遙の苦悩と『カンタベリー物語』</td> <td>15 成績確認と学生との議論</td> </tr> <tr> <td>8 神と悪魔のたたかいとしての『失樂園』</td> <td></td> </tr> </table>					1 導入・『聖書』とは何か？ 「創世記」の神と『フランケンシュタイン』	9 地上化する神と『レ・ミゼラブル』	2 原罪説と「人間とは何か？」	10 『カラマーゾフの兄弟』と神義論——探偵小説にハラハラドキドキ	3 「出エジプト記」と『神曲』	11 『無関心な人々』と中間者	4 「列王記」のダヴィデと『非文字』	12 『変身』という現代社会——中間者の地獄	5 「ヨブ記」と『白鯨』	13 『歎異抄』——親鸞はキリスト教を理解していたか	6 「ヨナ書」と『ハックルベリー・フィンの冒険』	14 遠藤周作『海と毒薬』——日本人にキリスト教は理解できます	7 逍遙の苦悩と『カンタベリー物語』	15 成績確認と学生との議論	8 神と悪魔のたたかいとしての『失樂園』	
1 導入・『聖書』とは何か？ 「創世記」の神と『フランケンシュタイン』	9 地上化する神と『レ・ミゼラブル』																			
2 原罪説と「人間とは何か？」	10 『カラマーゾフの兄弟』と神義論——探偵小説にハラハラドキドキ																			
3 「出エジプト記」と『神曲』	11 『無関心な人々』と中間者																			
4 「列王記」のダヴィデと『非文字』	12 『変身』という現代社会——中間者の地獄																			
5 「ヨブ記」と『白鯨』	13 『歎異抄』——親鸞はキリスト教を理解していたか																			
6 「ヨナ書」と『ハックルベリー・フィンの冒険』	14 遠藤周作『海と毒薬』——日本人にキリスト教は理解できます																			
7 逍遙の苦悩と『カンタベリー物語』	15 成績確認と学生との議論																			
8 神と悪魔のたたかいとしての『失樂園』																				
<p>【テキスト】 自作プリントを使用します。</p>																				
<p>【参考図書】 日本聖書協会編集、『聖書 新共同訳』（スタディ版）、日本聖書協会、2014年。</p>																				
<p>【成績評価の方法】 毎回の小テスト（50パーセント）＋毎回の小レポート（20パーセント）＋毎回の宿題（30パーセント）。詳しくは第一回目の授業で説明します。</p>																				

対面授業				13008
異文化理解と交流2A			D.J.マカントニー	
Canadian Studies				
3～4年次	2単位	後期	1コマ	
【授業の目的】 Students will have the opportunity to increase their understanding of Canada. We will study both the historical and modern country and compare them with Japan to improve inter-cultural understanding.				
【授業内容】 1. Introduction 2. Geography 1 3. Geography 2 4. The People 5. History 6. Climate and weather 7. Culture 8. Industry 9. Canadian Life 10. Symbolism 11. Mid-Term Review 12. Travel 1 13. Travel 2 (Presentation Practice) 14. Presentations 15. Review				
【テキスト】 No Textbook. All materials will be provided by teacher.				
【参考図書】 None				
【成績評価の方法】 Class Participation 30%, Homework 25%, Presentation 20%, Review 25%				

対面授業			13009
異文化理解と交流2B		D.J.マカントニー	
UK and Ireland Studies			
3～4年次	2単位	後期	1コマ
【授業の目的】 Students will have the opportunity to increase their understanding of the five countries that make up the British Isles. We will study both the historical and modern countries and compare them with Japan to improve inter-cultural understanding. Lessons will contain some conversational practice. Homework and regular attendance are very important.			
【授業内容】 1. Introduction 2. Wales 1 3. Wales 2 4. Wales 3 5. England1 6. England 2 7. England 3 8. Mid-Term Review 9. Scotland 1 10. Scotland 2 11. Scotland 3 12. Ireland 1 13. Ireland 2 14. Northern Ireland 15. Final Review			
【テキスト】 Scott Berlin, Chisako Nakayama, Discover Great Britain and Ireland, Kinseido, 978-47647-3864-5			
【参考図書】 English Dictionary and Japanese-English Dictionary			
【成績評価の方法】 Class Participation 30% Homework 20% Review and Assignments 50%			

対面授業			13010	
イギリス文化研究 1(=英語文化文学研究1)			雨森 未来	
British Cultural Studies 1				
2単位	2単位	前期	1コマ	
<p>【授業の目的】 本科目は「専門教育科目」に属し、カリキュラム・ポリシーの「英語関連領域の専門教育科目」に位置付けられる。本科目では、ディプロマ・ポリシーに準じ、英米文化及び英米文学を扱うことを通して、「各言語圏の社会・文化・思想・価値観の差異」を学ぶとともに、「英語の諸分野についての専門的・学際的研究を遂行する」ためへの土台を構築する。</p>				
<p>【授業内容】受講生はテキストや文献を通して、イギリスの文化及び文学の専門的な知識に触れる。具体的には、エリザベス朝を中心とするルネサンス期の英国の歴史や文化について、作品ではウィリアム・シェイクスピアの劇作品や近代及び現代の韻文作品について解説する。後半では、批評理論の基礎的な知識と体系を紹介し、論理的観点に基づく文学作品の批評について理解する機会を作る。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス: イングランドとセント・ジョージ 2. ルネサンス① 芸術と表象 3. ルネサンス② 視覚の理論と美術の様式 4. 英国ルネサンス イングランドの演劇世界 シェイクスピアのグローブ座 5. イングランドの劇場文化 シンボル(象徴)とアレゴリー(寓意) 6. ウィリアム・シェイクスピアの劇世界① 劇場文化と出版の歴史 7. ウィリアム・シェイクスピアの劇世界② シェイクスピア劇のジャンル 8. ウィリアム・シェイクスピアの悲劇の世界① 悲劇の伝統と『オイディプス王』 9. ウィリアム・シェイクスピアの悲劇の世界② 『ハムレット』と「メメント・モリ」 10. ウィリアム・シェイクスピアの喜劇の世界① 少年俳優と異性装 11. ウィリアム・シェイクスピアの喜劇の世界② 『ヴェニス商人』と批評の変遷 12. ウィリアム・シェイクスピアの喜劇の世界③ 『夏の夜の夢』とフェミニズム批評 13. ウィリアム・シェイクスピアの歴史劇 『リチャード三世』と悪役の系譜 14. ウィリアム・シェイクスピアのロマンス劇① 文学理論: ポストコロニアリズム 15. ウィリアム・シェイクスピアのロマンス劇② 『テンペスト』とポストコロニアリズム批評 				
<p>【テキスト】 なし。適宜、プリントや資料を配布する。</p>				
<p>【参考図書】 適宜、指示する。</p>				
<p>【成績評価の方法】 授業内課題あるいはコメント・ペーパーの提出を毎講義の内容に合わせて課す(75%) 課題の出来栄えに対する加点及び平常点(25%) 以上から総合的に評価する。 提出課題や発表にはコメントをつけてフィードバックする。</p>				

対面授業				13011																
イギリス文化研究3(=英語文化文学研究2)			原田 昂																	
British Cultural Studies 3																				
3~4年次	2単位	前期	1コマ																	
【授業の目的】 主に19世紀英国で書かれた文学作品を一部抜粋して鑑賞し、産業革命が英国の社会や文化に与えた影響を理解することを目的とする。特に、現代英語の語彙や、現代社会が抱える問題との関係性に注目する。																				
【授業内容】 <table border="0"> <tr> <td>1. イントロダクション:産業革命</td> <td>9. 科学と産業②</td> </tr> <tr> <td>2. 都市化①</td> <td>10. ナショナルトラスト</td> </tr> <tr> <td>3. 都市化②</td> <td>11. 植民地①</td> </tr> <tr> <td>4. 階級①</td> <td>12. 植民地②</td> </tr> <tr> <td>5. 階級②</td> <td>13. 作品鑑賞、意見交換①</td> </tr> <tr> <td>6. 教育①</td> <td>14. 作品鑑賞、意見交換②</td> </tr> <tr> <td>7. 教育②</td> <td>15. 産業革命と幽霊</td> </tr> <tr> <td>8. 科学と産業①</td> <td></td> </tr> </table>					1. イントロダクション:産業革命	9. 科学と産業②	2. 都市化①	10. ナショナルトラスト	3. 都市化②	11. 植民地①	4. 階級①	12. 植民地②	5. 階級②	13. 作品鑑賞、意見交換①	6. 教育①	14. 作品鑑賞、意見交換②	7. 教育②	15. 産業革命と幽霊	8. 科学と産業①	
1. イントロダクション:産業革命	9. 科学と産業②																			
2. 都市化①	10. ナショナルトラスト																			
3. 都市化②	11. 植民地①																			
4. 階級①	12. 植民地②																			
5. 階級②	13. 作品鑑賞、意見交換①																			
6. 教育①	14. 作品鑑賞、意見交換②																			
7. 教育②	15. 産業革命と幽霊																			
8. 科学と産業①																				
【テキスト】 必要に応じて適宜プリントを配布する。																				
【参考図書】 授業中に指示する。																				
【成績評価の方法】 レポート(50%)、課題提出(30%)、授業への積極的な参加(20%)。 レポートは、与えられた課題に適切に答えられているかを中心に評価する。 課題は、取り組みと毎回の提出を中心に評価する。 授業への積極的な参加は、毎回授業中に設ける意見交換の時間での発言を中心に評価する。																				

対面授業				13012																
アメリカ文化研究1			苔米地 夏緒																	
American Studies 1																				
3~4年次	2単位	前期	1コマ																	
<p>【授業の目的】 アメリカ文化について学ぶのであれば、人種は避けて通れない。しかし、そこで度々明らかになるのは、アメリカの多様性ではなく、人種差別は尚もアメリカ社会に残っている、という事実である。 それはアメリカの大衆文化について学ぶときも同様である。それどころか、その中で生産・消費されている大衆文化は大勢が日々触れるものだからこそ、人種差別のような社会的不平等の持続の中心的な存在である、と言える。 よって、本講義では大衆文化に表れる、アメリカの「理想の」人物像とはどのようなもので、誰が達成可能なのか？そこから外れた人々はどのように描かれるのか？などと問いかけながら、大衆文化を真摯に受け止め、そこに込められた人種に関連するメッセージを探っていく。</p>																				
<p>【授業内容】 この講義では人種の研究の基盤として race とは何か、racism とが具体的にどのようなものを指すのかを学び、白人(性)や白人特権を始め、人種の社会的構築、構造的な人種差別、人種的マイノリティのステレオタイプについての知識を身に着ける。また、大衆文化はそれを創り出した社会を反映しているという考えに基づいて、映像から文学に渡る様々な形態の作品を検証し、そこに描かれているものを授業やテキストを通して学んだ内容と比較し、分析する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. Introduction</td> <td>9. Blackness in U.S. Popular Culture II</td> </tr> <tr> <td>2. Introducing Popular Culture Studies</td> <td>10. The “Yellow,” Exotic, and Model Minority Asians I</td> </tr> <tr> <td>3. What is Racism?</td> <td>11. The “Yellow,” Exotic, and Model Minority Asians II</td> </tr> <tr> <td>4. The History of Race in the U.S.: Part I</td> <td>12. Preparation for Workshop</td> </tr> <tr> <td>5. The History of Race in the U.S.: Part II</td> <td>13. Workshop I</td> </tr> <tr> <td>6. Whiteness, or: The Raceless Race</td> <td>14. Workshop II</td> </tr> <tr> <td>7. Dismantling White Privilege</td> <td>15. Conclusion</td> </tr> <tr> <td>8. Blackness in U.S. Popular Culture I</td> <td></td> </tr> </table>					1. Introduction	9. Blackness in U.S. Popular Culture II	2. Introducing Popular Culture Studies	10. The “Yellow,” Exotic, and Model Minority Asians I	3. What is Racism?	11. The “Yellow,” Exotic, and Model Minority Asians II	4. The History of Race in the U.S.: Part I	12. Preparation for Workshop	5. The History of Race in the U.S.: Part II	13. Workshop I	6. Whiteness, or: The Raceless Race	14. Workshop II	7. Dismantling White Privilege	15. Conclusion	8. Blackness in U.S. Popular Culture I	
1. Introduction	9. Blackness in U.S. Popular Culture II																			
2. Introducing Popular Culture Studies	10. The “Yellow,” Exotic, and Model Minority Asians I																			
3. What is Racism?	11. The “Yellow,” Exotic, and Model Minority Asians II																			
4. The History of Race in the U.S.: Part I	12. Preparation for Workshop																			
5. The History of Race in the U.S.: Part II	13. Workshop I																			
6. Whiteness, or: The Raceless Race	14. Workshop II																			
7. Dismantling White Privilege	15. Conclusion																			
8. Blackness in U.S. Popular Culture I																				
<p>【テキスト】 各回に応じたメディアやテキストを配布する。</p>																				
<p>【参考図書】 Delgado, Richard and Jean Stefancic Eds. Critical Race Theory: An Introduction (Third Edition). NYU Press, 2017. ISBN: 978-1479802760 Sellnow, Deanna D. The Rhetorical Power of Popular Culture: Considering Mediated Texts. SAGE Publications, 2017. ISBN: 978-1506315218</p>																				
<p>【成績評価の方法】 授業内課題: 10%、リアクションペーパー: 20%、グループワーク: 30%、期末テスト: 40% Race/Racism とは何か、それらがアメリカの文化や社会のさまざまな側面にどのような影響を及ぼしているか、そしてその結果生じる問題は何かを理解しているかどうかを、上記課題を通して評価する。</p>																				

対面授業				13013																
アメリカ文化研究2			苦米地 夏緒																	
American Studies 2																				
3~4年次	2単位	後期	1コマ																	
<p>【授業の目的】 アメリカ文化について学ぶのであれば、人種は避けて通れない。しかし、そこで度々明らかになるのは、アメリカの多様性ではなく、人種差別は尚もアメリカ社会に残っている、という事実である。 それはアメリカの大衆文化について学ぶときも同様である。それどころか、その中で生産・消費されている大衆文化は大勢が日々触れるものだからこそ、人種差別のような社会的不平等の持続の中心的な存在である、と言える。 よって、本講義では大衆文化に表れる、アメリカの「理想の」人物像とはどのようなもので、誰が達成可能なのか？そこから外れた人々はどのように描かれるのか？などと問いかけながら、大衆文化を真摯に受け止め、そこに込められた人種に関連するメッセージを探っていく。</p>																				
<p>【授業内容】 この講義では人種の研究の基盤として race とは何か、racism とが具体的にどのようなものを指すのかを学び、白人(性)や白人特権を始め、人種の社会的構築、構造的な人種差別、人種的マイノリティのステレオタイプについての知識を身に着ける。また、大衆文化はそれを創り出した社会を反映しているという考えに基づいて、映像から文学に渡る様々な形態の作品を検証し、そこに描かれているものを授業やテキストを通して学んだ内容と比較し、分析する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. Introduction</td> <td>9. Challenges Against Racism I</td> </tr> <tr> <td>2. Americanness and Otherness</td> <td>10. Challenges Against Racism II</td> </tr> <tr> <td>3. Is Islamophobia Racism?</td> <td>11. Case Study</td> </tr> <tr> <td>4. Latinx? Hispanic?</td> <td>12. Preparation for Workshop</td> </tr> <tr> <td>5. The Struggles of Native Americans</td> <td>13. Workshop I</td> </tr> <tr> <td>6. Intersectionality</td> <td>14. Workshop II</td> </tr> <tr> <td>7. Colorblindness</td> <td>15. Conclusion</td> </tr> <tr> <td>8. Cultural Appropriation</td> <td></td> </tr> </table>					1. Introduction	9. Challenges Against Racism I	2. Americanness and Otherness	10. Challenges Against Racism II	3. Is Islamophobia Racism?	11. Case Study	4. Latinx? Hispanic?	12. Preparation for Workshop	5. The Struggles of Native Americans	13. Workshop I	6. Intersectionality	14. Workshop II	7. Colorblindness	15. Conclusion	8. Cultural Appropriation	
1. Introduction	9. Challenges Against Racism I																			
2. Americanness and Otherness	10. Challenges Against Racism II																			
3. Is Islamophobia Racism?	11. Case Study																			
4. Latinx? Hispanic?	12. Preparation for Workshop																			
5. The Struggles of Native Americans	13. Workshop I																			
6. Intersectionality	14. Workshop II																			
7. Colorblindness	15. Conclusion																			
8. Cultural Appropriation																				
<p>【テキスト】 WebClass にて各回に応じたメディアやテキストを配布する。</p>																				
<p>【参考図書】 Delgado, Richard and Jean Stefancic Eds. Critical Race Theory: An Introduction (Third Edition). NYU Press, 2017. ISBN: 978-1479802760 Sellnow, Deanna D. The Rhetorical Power of Popular Culture: Considering Mediated Texts. SAGE Publications, 2017. ISBN: 978-1506315218</p>																				
<p>【成績評価の方法】 授業内課題: 10%、リアクションペーパー: 20%、グループワーク: 30%、期末テスト: 40% Race/Racism とは何か、それらがアメリカの文化や社会のさまざまな側面にどのような影響を及ぼしているか、そしてその結果生じる問題は何かを理解しているかどうかを、上記課題を通して評価する。</p>																				

対面授業				13014																
アメリカ文化研究 3(=英語文化文学研究3)				和栗 了																
American Studies 3																				
3~4年次	2単位	後期	1コマ																	
<p>【授業の目的】 アメリカ合衆国の文学を代表するマーク・トウェイン(Mark Twain)の、人とその作品について講義します。アメリカとは何か、文学とは何かを、トウェインの作品と作家の研究を通じて明らかにします。かつて『トム・ソーヤーの冒険』や『ハックルベリー・フィンの冒険』を読んで合衆国に憧れた方は驚くかもしれない内容ですが、真実のトウェインと彼の作品が意味するものをお伝えします。受講生はマーク・トウェインをひとつの手がかりにしてアメリカ合衆国を理解してください。それが目的です。30年以上の研究を土台としたマーク・トウェイン研究を語ります。扱う作品は変更することがあります。</p>																				
<p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 導入 中世文学とマーク・トウェイン</td> <td>9. 自伝とマーク・トウェイン</td> </tr> <tr> <td>2. ウィリアム・シェイクスピアとマーク・トウェイン</td> <td>10. 『トム・ソーヤーの冒険』は恐ろしい</td> </tr> <tr> <td>3. 18世紀英国小説とマーク・トウェイン</td> <td>11. 『ハックルベリー・フィンの冒険』は過激すぎるのです？</td> </tr> <tr> <td>4. 同時代の文学者とマーク・トウェイン</td> <td>12. 『アーサー王宮のコネチカット・ヤンキー』は不倫のかほり</td> </tr> <tr> <td>5. 黒人奴隷とマーク・トウェイン</td> <td>13. 『自伝』は嘘ばかり？</td> </tr> <tr> <td>6. 先住民とマーク・トウェイン</td> <td>14. 『自伝』の真実</td> </tr> <tr> <td>7. 女性とマーク・トウェイン</td> <td>15. 成績確認・学生との議論</td> </tr> <tr> <td>8. 旅行記とマーク・トウェイン</td> <td></td> </tr> </table>					1. 導入 中世文学とマーク・トウェイン	9. 自伝とマーク・トウェイン	2. ウィリアム・シェイクスピアとマーク・トウェイン	10. 『トム・ソーヤーの冒険』は恐ろしい	3. 18世紀英国小説とマーク・トウェイン	11. 『ハックルベリー・フィンの冒険』は過激すぎるのです？	4. 同時代の文学者とマーク・トウェイン	12. 『アーサー王宮のコネチカット・ヤンキー』は不倫のかほり	5. 黒人奴隷とマーク・トウェイン	13. 『自伝』は嘘ばかり？	6. 先住民とマーク・トウェイン	14. 『自伝』の真実	7. 女性とマーク・トウェイン	15. 成績確認・学生との議論	8. 旅行記とマーク・トウェイン	
1. 導入 中世文学とマーク・トウェイン	9. 自伝とマーク・トウェイン																			
2. ウィリアム・シェイクスピアとマーク・トウェイン	10. 『トム・ソーヤーの冒険』は恐ろしい																			
3. 18世紀英国小説とマーク・トウェイン	11. 『ハックルベリー・フィンの冒険』は過激すぎるのです？																			
4. 同時代の文学者とマーク・トウェイン	12. 『アーサー王宮のコネチカット・ヤンキー』は不倫のかほり																			
5. 黒人奴隷とマーク・トウェイン	13. 『自伝』は嘘ばかり？																			
6. 先住民とマーク・トウェイン	14. 『自伝』の真実																			
7. 女性とマーク・トウェイン	15. 成績確認・学生との議論																			
8. 旅行記とマーク・トウェイン																				
<p>【テキスト】 自作プリントを使います。</p>																				
<p>【参考図書】Waguri Ryo, <i>Mark Twain and Strangers</i>, Tokyo: Eihou-sha, 2004. 和栗 了監訳、『マーク・トウェイン 完全なる自伝』(第一巻、第二巻、第三巻)(東京: 柏書房、2012年、2015年、2018年)。 和栗 了、『マーク・トウェインはこう読め』(東京: 柏書房、2016年)。 和栗 了訳、『マーク・トウェイン書簡集 第一巻』(大阪: 大阪教育図書、2011年)。</p>																				
<p>【成績評価の方法】 毎回の小テスト(50パーセント)+毎回の小レポート(20パーセント)+毎回の宿題(30パーセント)。詳しくは第一回目の授業で説明します。</p>																				

対面授業				13015																
日本史講義 1A			鈴木 琢郎																	
History of Japan 1A (Medieval Japan)																				
3～4年次	2単位	後期	1コマ																	
【授業の目的】 平安時代の摂関制成立史について学ぶ。摂関制研究の研究史上の問題点を明確にし、特に摂政の成立を如何に考えるかについて検討していく。																				
【授業内容】 <table border="0"> <tr> <td>1 授業の概要説明</td> <td>9 他氏排斥事件の再評価(承和の変)</td> </tr> <tr> <td>2 摂関制の研究史(戦前期)①</td> <td>10 他氏排斥事件の再評価(応天門の変)①</td> </tr> <tr> <td>3 摂関制の研究史(戦前期)②</td> <td>11 他氏排斥事件の再評価(応天門の変)②</td> </tr> <tr> <td>4 政所政治論批判(政所下文)①</td> <td>12 藤原良房による天皇権代行</td> </tr> <tr> <td>5 政所政治論批判(政所下文)②</td> <td>13 摂政の成立を如何に考えるか</td> </tr> <tr> <td>6 政所政治論批判(里内裏)①</td> <td>14 幼帝陽成と藤原基経</td> </tr> <tr> <td>7 政所政治論批判(里内裏)②</td> <td>15 授業のまとめ</td> </tr> <tr> <td>8 試験答案の書き方</td> <td></td> </tr> </table>					1 授業の概要説明	9 他氏排斥事件の再評価(承和の変)	2 摂関制の研究史(戦前期)①	10 他氏排斥事件の再評価(応天門の変)①	3 摂関制の研究史(戦前期)②	11 他氏排斥事件の再評価(応天門の変)②	4 政所政治論批判(政所下文)①	12 藤原良房による天皇権代行	5 政所政治論批判(政所下文)②	13 摂政の成立を如何に考えるか	6 政所政治論批判(里内裏)①	14 幼帝陽成と藤原基経	7 政所政治論批判(里内裏)②	15 授業のまとめ	8 試験答案の書き方	
1 授業の概要説明	9 他氏排斥事件の再評価(承和の変)																			
2 摂関制の研究史(戦前期)①	10 他氏排斥事件の再評価(応天門の変)①																			
3 摂関制の研究史(戦前期)②	11 他氏排斥事件の再評価(応天門の変)②																			
4 政所政治論批判(政所下文)①	12 藤原良房による天皇権代行																			
5 政所政治論批判(政所下文)②	13 摂政の成立を如何に考えるか																			
6 政所政治論批判(里内裏)①	14 幼帝陽成と藤原基経																			
7 政所政治論批判(里内裏)②	15 授業のまとめ																			
8 試験答案の書き方																				
【テキスト】 特に定めず、毎回プリントを配布する。																				
【参考図書】 米田雄介『歴史文化ライブラリー 藤原摂関家の誕生』(吉川弘文館、2002年) 神谷正昌『人物叢書 清和天皇』(吉川弘文館、2020年)																				
【成績評価の方法】 学期末の論述試験で評価する。																				

対面授業				13016																
日本史講義 2C			苅米 一志																	
History of Japan 2C (Medieval Japan)																				
3～4年次	2単位	前期	1コマ																	
【授業の目的】 日本中世の政治・社会の移り変わりについて、研究の基本的な用語・知識・概念を身につけることを目的とする。近年の主要な研究テーマや専門用語を解説する。																				
【授業内容】 <table border="0"> <tr> <td>1 日本中世という時代</td> <td>9 鎌倉・室町の民衆生活②</td> </tr> <tr> <td>2 東アジア世界の中で</td> <td>10 鎌倉幕府の滅亡と南北朝内乱</td> </tr> <tr> <td>3 治承・寿永の内乱</td> <td>11 室町幕府と足利氏</td> </tr> <tr> <td>4 武家政権の本格的展開</td> <td>12 守護大名の台頭</td> </tr> <tr> <td>5 権門体制論について</td> <td>13 室町時代の文化</td> </tr> <tr> <td>6 荘園制の形成と展開</td> <td>14 戦国大名の登場</td> </tr> <tr> <td>7 顕密体制論について</td> <td>15 授業のまとめ</td> </tr> <tr> <td>8 鎌倉・室町の民衆生活①</td> <td></td> </tr> </table>					1 日本中世という時代	9 鎌倉・室町の民衆生活②	2 東アジア世界の中で	10 鎌倉幕府の滅亡と南北朝内乱	3 治承・寿永の内乱	11 室町幕府と足利氏	4 武家政権の本格的展開	12 守護大名の台頭	5 権門体制論について	13 室町時代の文化	6 荘園制の形成と展開	14 戦国大名の登場	7 顕密体制論について	15 授業のまとめ	8 鎌倉・室町の民衆生活①	
1 日本中世という時代	9 鎌倉・室町の民衆生活②																			
2 東アジア世界の中で	10 鎌倉幕府の滅亡と南北朝内乱																			
3 治承・寿永の内乱	11 室町幕府と足利氏																			
4 武家政権の本格的展開	12 守護大名の台頭																			
5 権門体制論について	13 室町時代の文化																			
6 荘園制の形成と展開	14 戦国大名の登場																			
7 顕密体制論について	15 授業のまとめ																			
8 鎌倉・室町の民衆生活①																				
【テキスト】 特に定めず、毎回プリントを配布する。																				
【参考図書】 朝尾直弘・他編 『岩波講座 日本通史』7～10(1994年)																				
【成績評価の方法】 主として学期末のレポート(4000～8000字程度)で評価する。																				

対面授業			13017	
日本史講義 3C			三田 智子	
History of Japan 3C (Medieval Japan)				
3～4年次	2単位	後期	1コマ	
<p>【授業の目的】 ここ 30 年ほどのあいだに、日本近世における「身分」の捉え方は大きく変化し、それは社会全体の問い直しにつながっている。その論理的な部分について概観したあと、各分野における実証の成果について史料をふまえながら説明をおこなう。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 山川の日本史教科書の記述変化について 2 「身分」をめぐる二つの見方とその統一 3 「社会集団」と身分制社会 4 村請制とは何か 5 和泉のかわた(えた)村について① —南王子村の村方騒動— 6 和泉のかわた(えた)村について② —南王子村のイエ— 7 和泉のかわた(えた)村について③ —南王子村のイエ— 8 和泉のかわた(えた)村について④ —南王子村の生業— 9 和泉のかわた(えた)村について⑤ —南王子村の 19 世紀— 10 和泉のかわた(えた)村について⑥ —南王子村の 19 世紀— 11 和泉のかわた(えた)村について⑦ —地域社会と南王子村— 12 和泉のかわた(えた)村について⑧ —地域社会と南王子村— 13 和泉のかわた(えた)村について⑨ —地域社会と南王子村— 14 和泉のかわた(えた)村について⑩ —地域社会と南王子村— 15 和泉のかわた(えた)村について⑪ —賤称廃止令と地域社会— 				
<p>【テキスト】</p> <p>毎回プリントを配布する。</p>				
<p>【参考図書】</p> <p>塚田孝『近世身分社会の捉え方—山川出版社日本史教科書を通して—』(部落問題研究所、2010)ISBN978-4-8298-1077-4</p>				
<p>【成績評価の方法】</p> <p>受講態度 45%、レポート 55%で評価する。 受講態度については、毎回記入するリアクションペーパーの内容をもとに、授業内容を理解しているかどうかを評価する。レポートについては、史料を基礎に論理を構成するという実証方法の基礎ができているか、適切な表現がとられているか、などを主な評価基準とする。</p>				

対面授業			13018																
ヨーロッパ・アメリカ史講義 1C		小林 亜沙美																	
History of Europe/America3C (Medieval Europe)																			
3～4年次	2単位	後期	1コマ																
<p>【授業の目的】 中世ヨーロッパとは主に5世紀半ばから16世紀初めを指す。その間に生じた様々な出来事の一部は、当時の社会にとって衝撃的であったという理由で、あるいは、各出来事が後世に何らかの大きな影響をおよぼしたという理由で、歴史的に重要な事象とされている。本講義ではそのような事件や事柄に焦点を当て、関与した派閥や人間の動機、事件の前史や背景、事件の経緯や結末や影響などを説明する。各事象・事件が同時代および後の時代に及ぼした影響にも触れる。</p>																			
<p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1 「中世ヨーロッパ」とは？</td> <td>9 異端者に対する戦い</td> </tr> <tr> <td>2 西ローマ帝国の終わり</td> <td>10 農村・都市</td> </tr> <tr> <td>3 クローヴィスのキリスト教改宗</td> <td>11 教皇庁</td> </tr> <tr> <td>4 西ローマ帝国「復活」</td> <td>12 修道院</td> </tr> <tr> <td>5 中世初期「イングランド」の成立</td> <td>13 百年戦争</td> </tr> <tr> <td>6 フランク王国分割:「ドイツ」「イタリア」「フランス」の形成</td> <td>14 帝国国王選挙</td> </tr> <tr> <td>7 叙任権闘争</td> <td>15 総括</td> </tr> <tr> <td>8 異教徒に対する戦い</td> <td></td> </tr> </table>				1 「中世ヨーロッパ」とは？	9 異端者に対する戦い	2 西ローマ帝国の終わり	10 農村・都市	3 クローヴィスのキリスト教改宗	11 教皇庁	4 西ローマ帝国「復活」	12 修道院	5 中世初期「イングランド」の成立	13 百年戦争	6 フランク王国分割:「ドイツ」「イタリア」「フランス」の形成	14 帝国国王選挙	7 叙任権闘争	15 総括	8 異教徒に対する戦い	
1 「中世ヨーロッパ」とは？	9 異端者に対する戦い																		
2 西ローマ帝国の終わり	10 農村・都市																		
3 クローヴィスのキリスト教改宗	11 教皇庁																		
4 西ローマ帝国「復活」	12 修道院																		
5 中世初期「イングランド」の成立	13 百年戦争																		
6 フランク王国分割:「ドイツ」「イタリア」「フランス」の形成	14 帝国国王選挙																		
7 叙任権闘争	15 総括																		
8 異教徒に対する戦い																			
<p>【テキスト】 授業で配布する。</p>																			
<p>【参考図書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・菊地良生『神聖ローマ帝国(講談社現代新書)』(講談社、2003年、ISBN 978-4061496736) ・ハンス・K.シュルツェ(小倉欣一、河野淳訳)『西欧中世史事典Ⅲ 王権とその支配(MINERVA 西洋史ライブラリー96)』(ミネルヴァ書房、2013年、ISBN 978-4623067428) ・神崎忠明『【新版】ヨーロッパの中世』慶應義塾大学出版会、2022年 (ISBN 978-4766428087) ・川原温、堀越宏一『西洋中世史』放送大学教育振興会、2021年 (ISBN 978-4595141584) ・ヨーロッパ中世史研究会(編集)『西洋中世史料集』東京大学出版会、2000年 (ISBN 978-4130220170) ・その他、WebClass に参考文献を記載する。 																			
<p>【成績評価の方法】 各授業の小テスト(50%)、期末レポート(50%)。</p>																			

対面授業				13019
ヨーロッパ・アメリカ史講義 2A			山本 航平	
European and American History 2A (Cultural History of Europe and the Americas)				
3～4年次	2単位	前期	1コマ	
<p>【授業の目的】 ※【重要】担当教員の校務の都合上、本授業は全 15 回のうち最低 5 回が休講・補講となる予定です。補講は平日の 5 時限目(受講生全員が同時間帯に他授業がない場合のみ)、あるいは土曜日におこないます。具体的な休講日と補講日案は初回授業時にお伝えします。</p> <p>本授業はアメリカ合衆国(植民地時代も含む)の歴史について、移民・人種・宗教・戦争・文化など、さまざまな観点から検討する。本授業は下記「テキスト」欄記載の書籍 1 冊を使用し、他の研究書や論文の議論もふまえて授業担当者がテキスト内容を各回 1 章ずつ解説する形式で進めていく。また適宜同書所収のテーマ別の評論(「歴史の扉」)も授業範囲に含める。受講生は事前にテキストの指定範囲を読んだうえで授業にのぞむことが必須である。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス / なぜアメリカ合衆国史を学ぶのか 2 第 1 章: アメリカ先住民の世界 3 第 2 章: 植民地時代 4 第 3 章: アメリカ革命 5 第 4 章: 船出する共和国の曲折 6 第 5 章: 大陸国家の出現 7 第 6 章: 巨大内戦から国民国家統合へ 8 第 7 章: 金メッキの時代 9 第 8 章: 社会改革の時代 10 第 9 章: 大恐慌と第二次世界大戦 11 第 10 章: 超大国の出現 12 第 11 章: 未完のままの「偉大な社会」 13 第 12 章: 漂流する超大国 14 第 13 章: 分断という挑戦を乗り越えて 15 期末テスト / 授業のまとめ / 「アメリカ」とは何か 				
<p>【テキスト】 遠藤泰生・小田悠生編『はじめて学ぶアメリカの歴史と文化』ミネルヴァ書房、2023 年 (ISBN: 978-4-623-09405-9)。受講生は本書を購入すること(本体 3,500 円+税)。電子書籍版がある場合でも紙の書籍を購入すること。</p>				
<p>【参考図書】 授業中に紹介する。</p>				
<p>【成績評価の方法】 小レポート(40%)と期末テスト(60%)で評価する。単位取得に際しては「授業回数の 3 分の 2 回以上の小レポートの提出」と「期末テストの受験」が最低要件である。評価基準は以下である。</p> <p>【小レポート】 毎回の授業の最後に講義内容に関する小レポートを課す。教員が出題した問いに対して適切な解答ができていくか(講義内容が適切に理解できているか)を評価基準とする。フィードバックは次回授業の冒頭でおこなう。</p> <p>【期末テスト】 第 15 回目の授業時に講義内容に関する期末テストをおこなう。教員が出題した問いに対して適切な解答ができていくか(講義内容が適切に理解できているか)を評価基準とする。希望者全員に対して試験添削と個人面談による指導をおこない、フィードバックする。</p>				

対面授業			13020																	
アジア史講義1A			渡邊 将智																	
History of Asia 1A																				
3～4年次	2単位	後期	1コマ																	
<p>【授業の目的】 中国の歴代王朝は、前代の王朝や自分の王朝の歴史を記録し続けてきた。中国史学の特色とその発展の過程を学ぶことは、過去の歴史に向き合うための視点を広げるとともに、現代の社会を読み解くために必要な目を養うことにつながる。この授業では、前近代中国における史書編纂の過程と歴史叙述の特色を、思想的・文化的・政治的な背景に目を向けつつ概観する。さらに、同時期における歴史研究や史学理論の発展の過程についても学ぶ。</p>																				
<p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 前近代中国の史学とその評価</td> <td>9. 『史通』の史学理論と史料批判</td> </tr> <tr> <td>2. 歴史叙述の形成と先秦諸子百家</td> <td>10. 『資治通鑑』と編年体の採用</td> </tr> <tr> <td>3. 『史記』の編纂と紀伝体の創出</td> <td>11. 『資治通鑑』の帝王学と同時代批判</td> </tr> <tr> <td>4. 『史記』の対秦評価と同時代批判</td> <td>12. 地方志の隆盛と方志学</td> </tr> <tr> <td>5. 断代史の創出と『漢書』</td> <td>13. 清朝考証学の世界</td> </tr> <tr> <td>6. 三国鼎立と『三国志』の正統観</td> <td>14. 『文史通義』の史学理論</td> </tr> <tr> <td>7. 『後漢書』の編纂とその歴史叙述</td> <td>15. 総括</td> </tr> <tr> <td>8. 家学と注釈学</td> <td></td> </tr> </table>					1. 前近代中国の史学とその評価	9. 『史通』の史学理論と史料批判	2. 歴史叙述の形成と先秦諸子百家	10. 『資治通鑑』と編年体の採用	3. 『史記』の編纂と紀伝体の創出	11. 『資治通鑑』の帝王学と同時代批判	4. 『史記』の対秦評価と同時代批判	12. 地方志の隆盛と方志学	5. 断代史の創出と『漢書』	13. 清朝考証学の世界	6. 三国鼎立と『三国志』の正統観	14. 『文史通義』の史学理論	7. 『後漢書』の編纂とその歴史叙述	15. 総括	8. 家学と注釈学	
1. 前近代中国の史学とその評価	9. 『史通』の史学理論と史料批判																			
2. 歴史叙述の形成と先秦諸子百家	10. 『資治通鑑』と編年体の採用																			
3. 『史記』の編纂と紀伝体の創出	11. 『資治通鑑』の帝王学と同時代批判																			
4. 『史記』の対秦評価と同時代批判	12. 地方志の隆盛と方志学																			
5. 断代史の創出と『漢書』	13. 清朝考証学の世界																			
6. 三国鼎立と『三国志』の正統観	14. 『文史通義』の史学理論																			
7. 『後漢書』の編纂とその歴史叙述	15. 総括																			
8. 家学と注釈学																				
<p>【テキスト】 指定しない。毎回資料を配布する。</p>																				
<p>【参考図書】 授業中に参考文献を紹介する。</p>																				
<p>【成績評価の方法】 レビューシート 40% (授業中)、レポート 60% (学期末) レビューシートは、講義内容に対する理解の度合いと、講義で得た知識に基づき自分自身の視点で考察できているかを評価する。また、レポートは、講義内容に対する理解度と考察力に加えて、書籍・論文などの参考文献を調査し、それらを活用して分析・考察する力を具えているかどうかを評価する。 レビューシートを回収後、教員は次回の授業中に補足説明を行う。</p>																				

対面授業				13021
アジア史講義 2A			井上 あやか	
History of Asia 2A				
3～4年次	2単位	前期	1コマ	
【授業の目的】 南アジア現代史を事例として、国際関係の中で戦争と地域紛争を歴史的に理解する視点を獲得し、戦争と平和を自分のことばで語れるようになること。				
【授業内容】 <ol style="list-style-type: none"> 1. アフガニスタンの復興とターリバーン 2. ターリバーンの論理(ドキュメンタリー「密着ムジャーヒディーン」) 3. アメリカの戦略とアフガニスタン 4. 帰還兵から見た戦争(ドキュメンタリー「アフガン帰還兵―若きソビエト兵士たちの9年間」) 5. 現代のイスラーム 6. パキスタンの軍・政治・イスラーム 7. 南アジアの民主主義 8. インドの経済発展(1) 9. インドの経済発展(2)(ドキュメンタリー「11億の消費パワー」) 10. 世界の核管理体制 11. インド・パキスタン対立と核問題(ドキュメンタリー「揺れる核保有国インド」) 12. インド・パキスタン対立とカシュミール問題(1) 13. インド・パキスタン対立とカシュミール問題(2) 14. 平和学について 15. 歴史と現在の関わり 				
【テキスト】 とくに指定しない。				
【参考図書】 教室で、適宜指示する。				
【成績評価の方法】 学期中に適宜コメント紙の提出を求め(40%)、学期末に課すレポート(60%)で評価する。				

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

* 学生は太枠内のみ記入

就実大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏 名			Ⓜ

※出願の際には
履修願に写真は
貼らずに添付し
て提出してくだ
さい。

**写真
貼付
(4 cm × 3cm)**

この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等							
学部・学科・学年	学部			学科		年	
学生番号		性別	生年 月 日	西暦		年	
		男・女		昭和・平成	年	月	日 生
現住所	〒 _____ Tel (_____) _____ メールアドレス _____ @ _____ ※kyoumu@shujitsu.ac.jp からのメールが受信できるように設定をお願いします。						

* 履修受付締切日：前期：3月31日(月)まで 後期：9月8日(月)まで

* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授 業 科 目	区 分	担当教員	単 位	開 講 期	配 当 学 年	備 考	曜 日 ・ 時 限	履 修 希 望	評 価
対面授業科目 ※ 希望する授業科目に○を付けてください ↓										
13001	古典文学研究 1	専門	瓦井 裕子	2	前期	2~4		火 10:50~12:20	<input type="checkbox"/>	
13002	古典文学講義 2	専門	川崎 剛志	2	後期	3~4		木 10:50~12:20	<input type="checkbox"/>	
13003	古典文学研究 3	専門	竹内 洪介	2	後期	2~4		木 13:10~14:40	<input type="checkbox"/>	
13004	近現代文学講義 3	専門	坂 堅太	2	前期	3~4		火 13:10~14:40	<input type="checkbox"/>	
13005	異文化理解と交流 1A	専門	L. ダンテ	2	前期	3~4		木 9:10~10:40	<input type="checkbox"/>	
13006	異文化理解と交流 1B	専門	テレサ ストックウェル	2	前期	3~4		水 10:50~12:20	<input type="checkbox"/>	
13007	異文化理解と交流 1C	専門	和栗 了	2	前期	3~4		火 9:10~10:40	<input type="checkbox"/>	

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
対面授業科目										
※ 希望する授業科目に○を付けてください ↓										
13008	異文化理解と交流 2A	専門	D.J.マカントニー	2	後期	3~4		金 13:10~14:40	<input type="checkbox"/>	
13009	異文化理解と交流 2B	専門	D.J.マカントニー	2	後期	3~4		木 9:10~10:40	<input type="checkbox"/>	
13010	イギリス文化研究 1 (=英語文化文学研究1)	専門	雨森 未来	2	前期	3~4		木 13:10~14:40	<input type="checkbox"/>	
13011	イギリス文化研究 3 (=英語文化文学研究2)	専門	原田 昂	2	前期	3~4		火 13:10~14:40	<input type="checkbox"/>	
13012	アメリカ文化研究 1	専門	苫米地 夏緒	2	前期	3~4		火 13:10~14:40	<input type="checkbox"/>	
13013	アメリカ文化研究 2	専門	苫米地 夏緒	2	後期	3~4		火 13:10~14:40	<input type="checkbox"/>	
13014	アメリカ文化研究 3 (=英語文化文学研究3)	専門	和栗 了	2	後期	3~4		火 9:10~10:40	<input type="checkbox"/>	
13015	日本史講義 1A	専門	鈴木 琢郎	2	後期	3~4		金 10:50~12:20	<input type="checkbox"/>	
13016	日本史講義 2C	専門	苅米 一志	2	前期	3~4		金 13:10~14:40	<input type="checkbox"/>	
13017	日本史講義 3C	専門	三田 智子	2	後期	3~4		木 10:50~12:20	<input type="checkbox"/>	
13018	ヨーロッパ・アメリカ史講義 1C	専門	小林 亜沙美	2	後期	3~4		水 13:10~14:40	<input type="checkbox"/>	
13019	ヨーロッパ・アメリカ史講義 2A	専門	山本 航平	2	前期	3~4	開講日についてはシラバスを要確認	月 13:10~14:40	<input type="checkbox"/>	
13020	アジア史講義 1A	専門	渡邊 将智	2	後期	3~4		木 13:10~14:40	<input type="checkbox"/>	
13021	アジア史講義 2A	専門	井上 あえか	2	前期	3~4		火 14:50~16:20	<input type="checkbox"/>	

写真提出枚数 (※ 出願の際には、履修願に写真は貼らずに 添付して提出してください) (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	単位互換科目 履修願用	身分証明書用	学生原簿用	計
	1枚	0枚	0枚	1枚